

# 立沢里山

平成22年11月27日 里山新聞 第21号

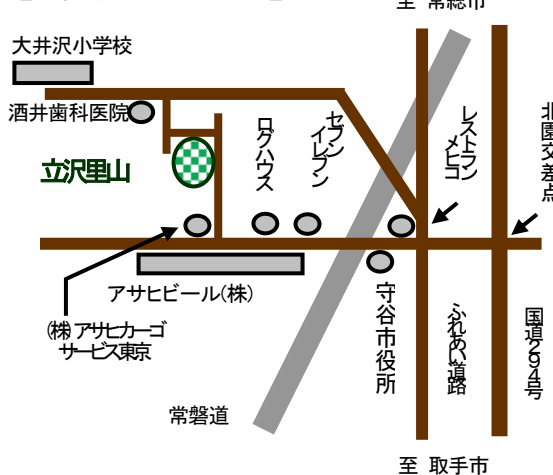
発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮  
 問い合わせ先：事務担当  
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 351）  
 立沢里山ホームページ  
<http://www.geocities.jp/tatuzawasatoyama/>

ボランティア募集  
 あなたも一緒に楽しみましょう！

～目次～

- 1 北守谷夏祭りに出店 8月21日22日
- 2 「田んぼの学校」の稲刈り 9月13日(月)
- 3 脱穀作業 9月22日(水)
- 4 竹酢液等の販売
- 5 御前山視察旅行 10月31日(日)  
慰労会、御前山ピオトープ
- 6 松前台小学校の収穫祭 11月17日(水)
- 7 立沢里山でワークショップ 11月23日(火)

【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします

[denen21@hb.tpl.jp](mailto:denen21@hb.tpl.jp)

清野



2 「田んぼの学校」の稲刈り

今年は熱波の影響もあり、稲の生育は比較的早かったことから、稲刈りは例年より早く当初9月9日（木）と設定しました。数日前に圃場を確認すると排水も良く足元も乾いてきて作業には最適な状態でした。

ところが直前に台風と大雨にみまわれ、雨はあがりましたが湛水してとても稲刈りできる状況ではないことから急遽延期して9月13日（月）としました。

幸いその後好天が続き状況はかなり改善されましたが、一部ぬかるみ状態でした。

当日はうす曇りと、残暑の続くなかでは日差しが弱くなり比較的助かったというのが実感です。

9時過ぎには各学校が徒歩で到着し、さっそく稲刈り作業の手順などの説明を受けた後に田んぼに入って作業を始めます。

ワイワイ騒ぎながら初めての鎌を使って真剣な顔つきで稲を刈り、感触を味わいました。

中には手際の子もいて、話しかけると先週末にお爺ちゃんと実家で稲刈りをしてきたとのこと。やはり経験が大切ですね。

NHKや市役所、新聞などの取材もありました。NHKは県南では放映されなかったようですが、県



北では昼のニュースで報道されたらしく、後日知り合いから電話がありました。

今年は田植え後の5月は天候不順でしたが、その後異常ともいえる高温と雨不足が続きました。

米は暑さには比較的強くその分日照には恵まれたとも言えます。問題は干ばつで水源の小川が完全に干上がってしまいましたが、立沢里山には奥の手の「上総堀の井戸」が健在で、ポンプにより補給し水問題は解決できました。出来栄は脱穀してみないと解りませんが、稲刈りの感触では期待できる様子でした。



3 脱穀作業

稲刈り後、天気にも恵まれ乾燥状態も良好だったので9月22日(水)に脱穀・糶摺りを行い無事終了しました。

今年の収穫は301.5Kg（約5俵）と、里山水田を開田して以来、今までで最高の収量となりました。（写真参照）

早速、各学校に連絡し、その日のうちに引き取りに来てもらい、各校とも1俵ずつ配布しました。それぞれ収穫祭などで試食する予定です。



1 北守谷団地、夏祭りに出店

今年は猛暑が続きます。8月21日（土）22日（日）と恒例の夏祭りに出店しました。

前日の20日（金）に竹酢液の詰め込み作業で、一年以上静置沈殿させて精製した昨年の竹酢液を約百本作成しました。濾紙を使いましたがほとんど必要ないくらいに不純物は沈殿分離しており、色もきれいでした。500ccのボトルを百本集めるとなると、なかなか大変な作業でしたが皆の協力をいただき、ラベルも手作り作成して仕上がりました。

翌21日（土）の午前中は焼きそば等の仕込み作業です。焼きそばは会場で焼き続ける一方でパック詰めしなければならぬので本番が重労働で大変です。毎年行列ができて完売するのですが、今年は無理しない範囲でやろうと仕入れをやや少なくすることにしました。

その代わりに、竹炭関係のメニューを拡大し、竹酢液の他、竹炭アート、マドラーの他、トウモロコシや古代米も登場してメニューはかなり多彩で里山の会らしくなりました。

当日は猛暑のド真ん中で、テントを2張りして日陰を作りましたが、それでも焼きそば作業は汗だく、体力が勝負となり仕入れを少なくしたのは正解でした。



### 4 竹炭等の販売

北守谷夏祭りでは、昨年の竹炭に続いて、今年は新たに古代米の委託販売や、初めて竹酢液を出店しました。しかし売り上げは期待したほどではなく、特に竹酢液は半数くらいしか売れませんでした。

そこで、10月21日(木)に県北の御前山ピオトープでのイベントに際して試しに並べてみました。こちらは地元の者が多いので、竹酢液のことを良く知っていて、これは安いと一人で5本以上買っていく人もいて、一瞬で売れてしまいました。竹炭アートも、「私も昔は炭焼きをやっていたことがあるが炭をこんな風にするのは初めてだ」と、お婆ちゃんやお爺ちゃんが孫に買っていくなど、完売してしまいました。やはり、売り方や場所を工夫すればそれなりに売れるようですね。今回の売上金は申し訳ありませんが、古代米の販売金と併せて、先方への協力金として寄付してしまいましたので、ご了解願います。



昔の千歯こき(御前山)

### 5 御前山視察旅行

今年の田んぼの学校も一段落しました。例年、収穫慰労会を市内で行っていましたが、今年は県北部の「御前山ピオトープ」を視察旅行することになりました。

日程は10月31日(日)としましたが、台風14号が直撃コースで接近してきました。考えても仕方がないと様子を見てみると、僅かに早まって東へズレてくれたようで、夜半に東方海上を通過し、午前中は台風一過で晴れるかもしれないとのこと。

当日は予報どおり朝には雨も上がり、午前8時に集合して小型バスで常磐道を走ります。ほぼ予定の時間で城里町の「桂道の駅」に到着し小休憩。その後、すぐ近くにある完成間近の「御前山ダム」「御前山ピオトープ」を視察しました。

現地では「御前山ダム環境センター」の長山会長(元御前山村長)と檜山集落の国安区長が出迎えてもらいました。

移植した希少種やため池など、のどかな山郷の雰囲気を味わいながらノンビリと散策、視察した後、近くの公営温泉「四季彩館」へ行き、温泉と昼食にしました。



御前山ピオトープにて



バスで視察



地元の歓迎挨拶

せっかくの機会なので那珂湊のお魚市場へ買い物をするために少し早めの3時過ぎに出発しました。

男性陣は買い物にはあまり興味がなく、早速、料理屋に上がりこんで飲み始めました。

5時過ぎに市場を出発して高速道経由だと6時半には守谷に到着してしまいました。

順調な工程で早く帰れたことから、飲み足りない者は守谷市内で途中下車し、視察旅行には参加できなかった者にも声をかけると、早速出てきて二次会と反省会も盛り上がりまして。

### 6 松前台小学校の収穫祭

11月17日(水)松前台小学校の収穫祭があり、里山の会も招待されて出席しました。今年収穫した新米を屋外で飯ごう炊飯しました。4合ずつ20ヶに分けて炊き上げ、稲作体験した5年生と一緒に昼食として食べました。

また、子供たちからは感謝の言葉や「感想文集」が里山の会に送られました。

### 7 立沢里山でワークショップ

守谷里山ネットワークでは「市民協働事業」の一環として、守谷全域を対象にして、市内の里山を市民に幅広く知ってもらおうと「里山マップ」作成作業を進めています。11月23日(火)祝日に「立沢里山」をモデルケースにして、ワークショップ方式により実際に皆で歩きながら検討してみようということになりました。

当日は何とか雨もあがり、参加者は子供を含めて10数名でした。国際交流センター(ログハウス)を起点に約2時間かけて滝沢寺、立沢里山、山百合公園、四季の里と一巡しました。

あれこれと歩きながらお互いに情報、意見交換をしましたが、立沢里山の会のメンバーでも、「こんなところがあるとは知らなかった、普段見慣れている風景でも説明があると違って見える。」などの声が聞こえてきました。立沢本田の香取神社では花火筒や平舟が保存されており、皆の関心をよせていました。昔ながらの街道の雰囲気が残されている旧道、立沢里山の木道、斜面林内の散策路など、四季折々に雰囲気が違い、リフレッシュできました。

その後、中央図書館の集客室で検討会を行いました。もっと、各里山の特徴を前面に出したほうが良いとい



子供たちの感想文集



香取神社の花火筒と平舟



うことで、立沢里山は「守谷の尾瀬(湿原)立沢里山」と提案しました。これは五木田先生が指導する自然観察会で、先生が立沢湿地と説明されていることにヒントを得て考えたものです。湿原特有の植物に木道もありピタリだと思えます。

是非、マップの散策ルート(茶色の破線)を参考に皆さんも歩いてみてください。必ず新たな発見があるはずですよ。

